

令和2年10月30日

令和2年度 第2回学校運営協議会実施報告

実施日時：令和2年10月30日（金） 14:30～16:55

実施場所：本校会議室

学校協議会

委員 出席者（五十音順、敬称略）

足立委員、長田委員、塩見委員、田中委員、中山委員、長森委員

事務局出席者

明石（校長）、西村（教頭）、田澤（事務長）、川村（首席）、隼田、吉田、中島、三森、
諸井、奥村、鈴木、橋本、松原（分掌長・学年主任）、佐伯、武岡（授業担当）合計15名

次第：

1. 本日の授業見学について
2. 各学年分掌から進捗状況報告について
3. その他、校長が必要と認める事項について

<授業見学> 14:30～15:40

<意見交換> 15:40～16:55

1. 本日の授業見学について

各担当教員から／授業のねらいについて

- 国語／基礎的な漢字の読み書きができることをねらいとしている。採用している問題集はSPIにも対応しているので就職試験にも役立てられる。週に3回は行っている。また、掲載されている春夏秋冬のコラムでは、日本文化もとりあげられており、コラムを通して日本文化に触れさせることもねらいとしている。
- 数学（ルミナス）／ルミナスの生徒たちが四則演算を確実に身につけることをねらいとしている。時間の計算をすることなどで時間の概念が身につくことも期待。教材ドリルには、脳の活性化を目的とした普段あまり脳を使わなくなった（高齢の）大人が対象の本を用いており、レベル的にはルミナスの生徒にはちょうどよい教材となっている。三人三様の理解に対し、各人の進度別に目標を与えて指導している。
- 社会／3年生には18歳になっている生徒もいる。自分たちが生きていくうえで必要となる社会の権利を学んでいる。これから世の中に出てどのように社会と向き合えるのかというところを大きなテーマとしている。

2. 各学年分掌から進捗状況報告について

<質疑応答> ◎委員 ●事務局

- ◎ルミナスの生徒はどのように生活をしているのか。他の生徒たちとともに通常授業をどのくらい受けているのか。
- およそ半々くらい。多い場合は 20 コマ弱、少ない場合は 14 コマ程度教室で生活をしている。
- ◎ルミナスの定期考査は別試験か。
- 同じ試験の場合や別試験の場合など、生徒によって対応を変えている。
- ◎ルミナスの評価はどのように行っているのか。
- ABCD でつけるとともに、保護者が見てわかるように、学習の様子を文章で担当の先生方につけてもらっている。
- ◎ルミナスの成績表等は保護者へどのように渡しているのか。
- 本人を通じて保護者に届くようにしている。
- ◎ルミナスの教室には声優の夢を持つ生徒のために、腹筋を鍛える筋トレ道具など置いてあり、生徒の夢を応援する素敵な学校だと思った。

- ◎今般、新型コロナウイルス感染拡大している状況下での進路指導において、リモート面接などの対応は行っているのか。
- リモート面接を行う企業等は出てきているが多くはない。ほとんどの面接は現地に行って、別室でリモート面接を行っている。家庭でのリモート面接というケースは 1 件だけあったが、これは進路指導室で対応を行った。

- ◎大学入試共通テストの受験者が 2 名というのは少ないのではないか。
- ここ数年 2 名～4 名で推移。今年は記述問題も入ってくるということで、例年よりもハードルがあがった印象がある。

- ◎気を緩めないようにとの生活指導について、1 年間ずっと気を張り詰めているのは無理があると思うが、どのような意図での指導か。
- 例えば頭髮、化粧、遅刻、授業中の居眠りなど。気を引き締めてルールを逸脱しないようにという指導である。

- ◎久しぶりに高校の授業を見ると、大学に比べて非常に「密」だと感じた。狭い中でマスクをはずす生徒もいる。大丈夫かと感じた。
- 感染予防に関して継続した指導を徹底していきたい。

3. その他、校長が必要と認める事項について

- ◎ 授業その他の教育活動に係る保護者からの意見の調査審議に関する事項について、事務局から報告はあるか。
- 特になし。